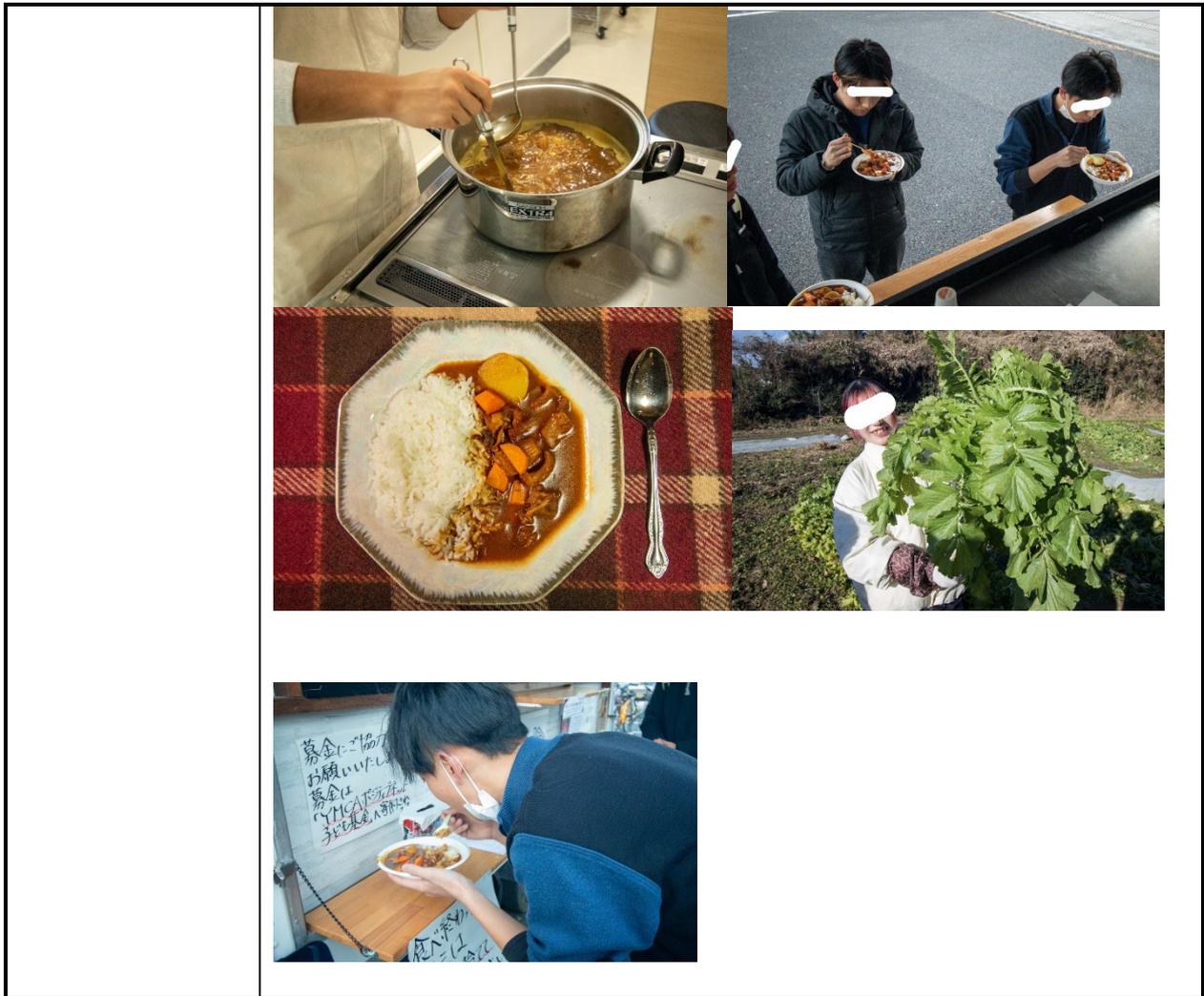


令和6年度大学コンソーシアムとちぎ 学生活動支援事業 報告書

機 関 名	宇都宮大学
団 体 等 名	Gurumet-chu
学生代表者氏名 (所属・学年)	八神蒼河 宇都宮大学地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科 2年
責任教職員氏名	高橋俊守

1. 事業名	キッチンカーで子どもの未来を明るく！
2. 実施時期	令和6年11月から令和6年12月にかけて
3. 実施場所	宇都宮大学陽東キャンパス
4. 事業の内容等	<p>1.事業概要</p> <p>子どもの貧困改善のため、キッチンカーでカレーを1杯500円で販売し、売り上げから5000円を「YMCA ポジティブネット子ども基金」に寄付した。</p> <p>また、大学生へ子どもの貧困問題の周知のためのチラシを配布した。 (キッチンカーはYMCAさんから借りした。)</p> <p>メンバーの1名が食品衛生責任者の資格を取得し、責任者の指示下で安全・安心に配慮し、調理した。 (食品衛生責任者は、食中毒や食品事故を防ぐために、食品の製造や加工、保存、提供などに関する衛生管理を行う。)</p> <p><申請書段階からの変更点></p> <p>サンドイッチの販売を検討していたが、食品衛生の観点から、加熱処理が行われるカレーへと変更した。</p> <p>申請書の段階では、①10月中旬、②11月中旬の予定であったが、食品を扱う事業であるため、保健所との兼ね合い、大学への申請に時間がかかり、年一回のプロジェクトに変更した。</p> <p>2. 実際のスケジュール</p> <p>11月22日 カレーの試作</p> <p>28日 パンフレッド作成</p> <p>29日 パンフレッド印刷</p> <p>12月16日 オーガニックファーム視察・野菜購入 材料購入・備品整理</p>

	<p>17日 前日準備</p> <p>18日 キッチンカー出店 (陽東キャンパス内)</p>
<p>5. 事業の成果と今後の課題</p>	<p>事業 キッチンカーで子どもの未来を明るく！</p> <p>成果 カレー100食を完売し、大学生150人ほどに子供の貧困問題について作成したパンフレットを配った。そのことにより、大学生への子供の貧困問題についての周知を行うことができた。また、カレーの味を来場者の方々に褒めていただき、「次のイベントがあったら、友達を連れてくる。」や、インスタグラム等のSNSを通じて、私たちを宣伝してもらったことで、多くの人々が子供の貧困問題について周知するプラットフォームになるという私たちの目的がある程度達成されたと感じる。</p> <p>今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料理の備品が足らなかった。 →当日には、予定していた客の流れになるとは限らないので、見積もりを多くして、多く来た場合を想定し、対応できるような準備をする。 ・始まる時間が早かった。 →カレーやお米が冷めてしまったので、客のニーズに合わせた流れを作るべきだったと反省している。 ・宣伝が足りておらず、当日初めて知った人が多かった。 →SNSでの広報活動を行っていたものの、Instagram等SNSのフォロワーが少ないため、SNS広報戦略は失敗だったと思う。SNSのフォロワーを増やすために、もっと宇都宮大学生に寄り添った活動やイベントを行い、知名度の向上を図る必要があったと思う。 ・料理の技術が足りなかった。 →メンバーのほとんどが料理に携わった経験が少ないため、料理を作れる人がメンバー間で教えあう体制を整える必要性があると感じた。 ・加熱調理を行う料理のレパートリーが少なかった。 →上記の課題点に似通る部分ではあるが、料理経験の少なさによるレパートリーの少なさに原因があった。料理技術を向上する活動を今後行いたい。 ・提供可能な料理の量に限界があった。 →現在、大学生5人で運営しているため、人が足りていないと思った。そのため、私たちの活動に賛同してくれる仲間に参加してもらう必要があると感じた。 <p>3. 事業内容がわかるような資料や写真などがあれば添付してください。</p>



- (注) 1. 機関名・団体等名・学生代表者名・責任教職員氏名・事業名は、申請時と同様の内容を記入してください。
2. 記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。
3. 事業内容がわかるような資料や写真などがあれば添付してください。
 ※団体関係者以外の写真を添付する場合は、個人が特定できないよう顔部分を隠す等の加工をしてください。
4. 報告書（添付書類を含まず）はA4判3枚以上5枚以内にまとめてください。
5. この報告書は、各関係機関等へ公表するとともに、大学コンソーシアムとちぎのホームページへの掲載を予定しており、次年度以降の学生活動支援事業に役立てていきます。

